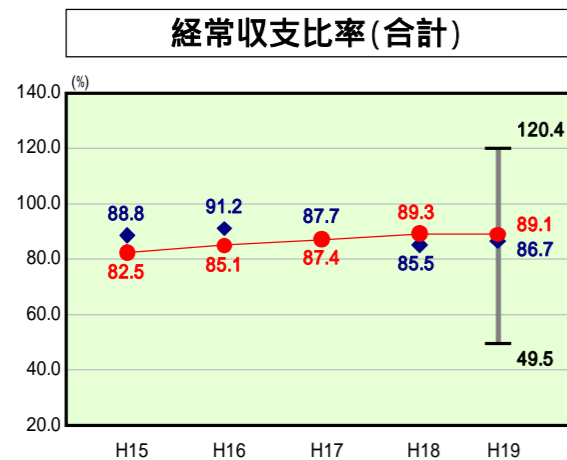


歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 音威子府村

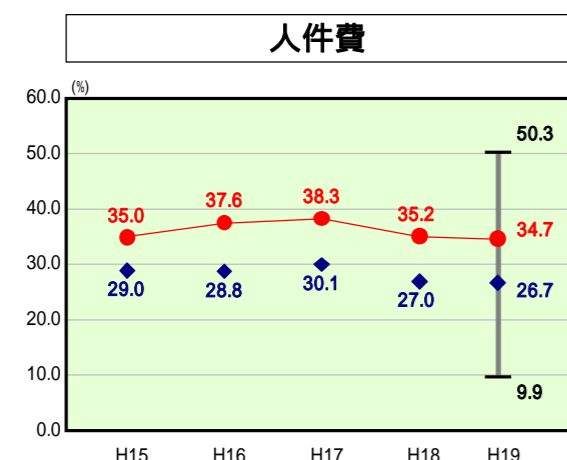
経常収支比率の分析



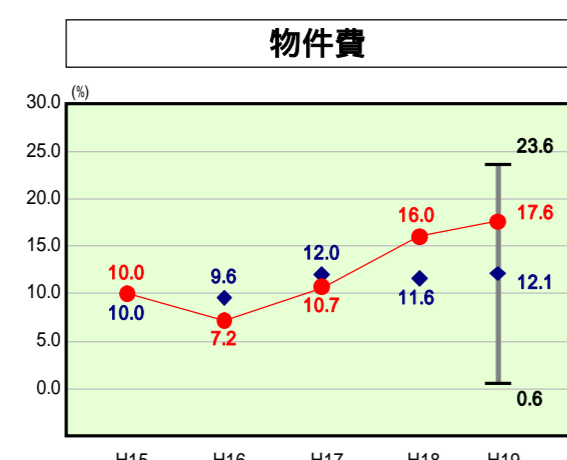
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 L

人口	927人(H20.3.31現在)
面積	275.64 km ²
歳入総額	1,797,475千円
歳出総額	1,738,959千円
実質収支	58,516千円

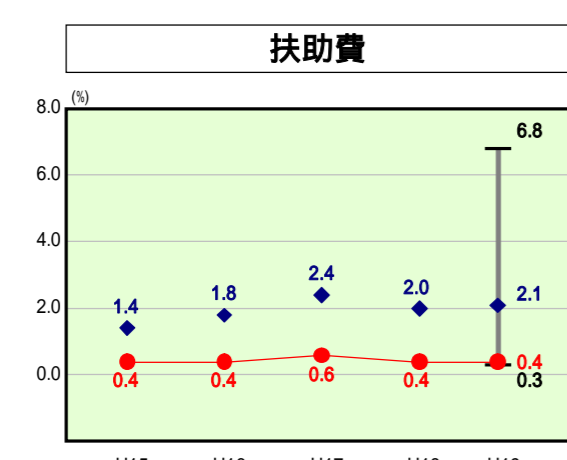
H19類似団体内順位 31/61
全国市町村平均 92.0
北海道市町村平均 92.0



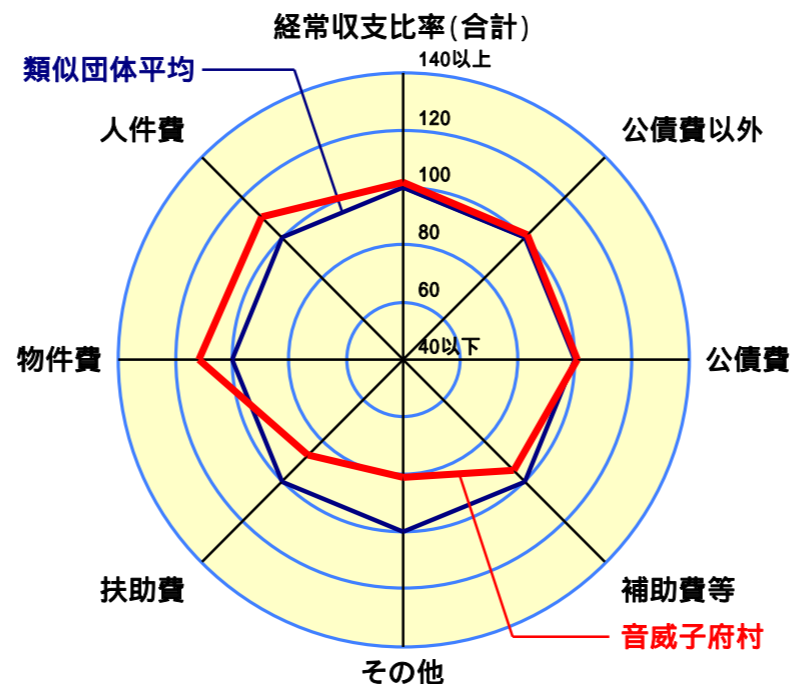
H19類似団体内順位 49/61
全国市町村平均 28.0
北海道市町村平均 25.2



H19類似団体内順位 51/61
全国市町村平均 13.1
北海道市町村平均 11.4



H19類似団体内順位 2/61
全国市町村平均 8.8
北海道市町村平均 8.8



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費～平成19年度においては、34.7%と昨年より0.5ポイント減となつてはいるものの、類似団体平均と比べ高い水準にある。これは村立高等学校を設置しているために職員数が類似団体と比較して多いことが主な要因である。ただし、実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を行っているため今回のポイント減はその効果が現れたものと思われる。

物件費～総体としては、3,400万円ほど増額となった。前年に比べ臨時的な経費が増えた事により類似団体平均を上回った。今後も経常経費の歳出削減をしながら物件費の抑制に努めていく。

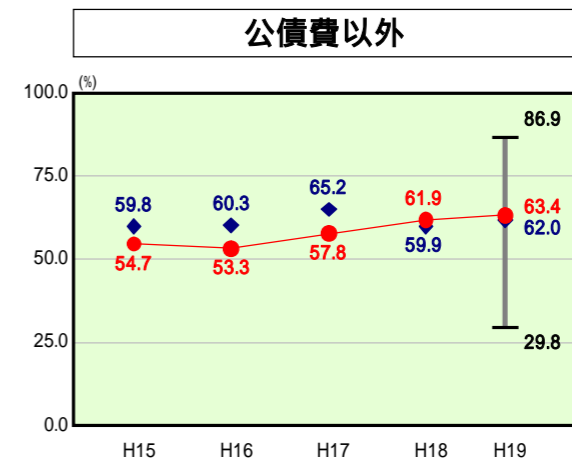
扶助費～類似団体平均を大幅に下回っている。高齢化が進み今後上昇する可能性があるが、現状を大幅に上回らないよう適正な支出を行っていく。

補助費等～類似団体平均をやや下回っているが、今後も補助金を交付するのが適当な事業を行っているかなどについてチェックをし不適当な補助金は見直しや廃止など行い歳出削減に努めていく。

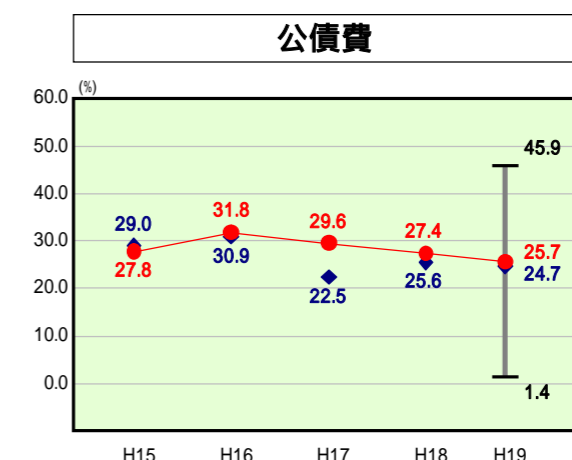
公債費～元利償還金のピークを過ぎてはいるものの、平成11年度から平成12年度にかけて主に整備をした診療所建設、上下水道に係る部分が償還金の約29%を占めている。自主財源の乏しい状況で新たな大きな事業も控えざるを得ないため、公債費の割合は今後も減少していくと思われる。

その他～平成19年度においては類似団体内2番目の数値となっているが、前年度より若干数値が上がっている。今後は公共施設等の維持補修費がかかることが予想されるが、必要最小限にとどめるなど、現状から大幅に上昇しないよう努める。

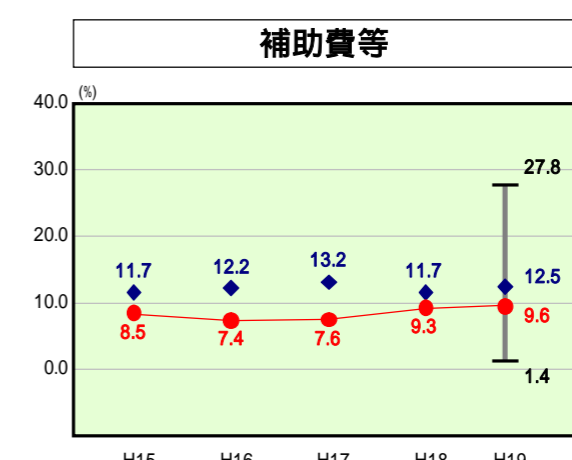
普通建設事業費～決算額は平成18年度に比べ微減しており、人口1人当たり決算額は類似団体平均を若干下回っている。今後においては、大きな事業も予定していないことから、現状の数値から大きな変動は無いものと思われる。



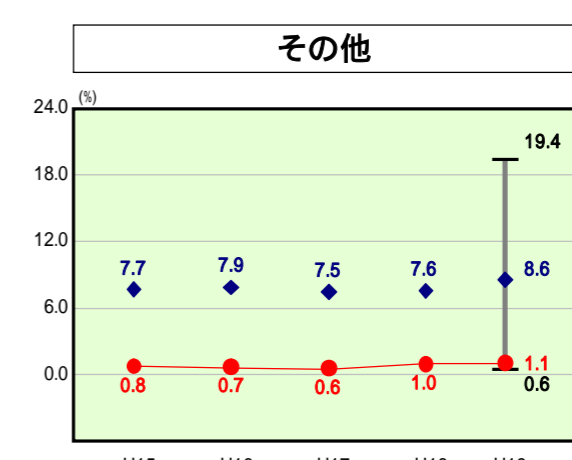
H19類似団体内順位 32/61
全国市町村平均 71.7
北海道市町村平均 68.6



H19類似団体内順位 31/61
全国市町村平均 20.3
北海道市町村平均 23.4



H19類似団体内順位 26/61
全国市町村平均 10.4
北海道市町村平均 11.4



H19類似団体内順位 2/61
全国市町村平均 11.4
北海道市町村平均 11.8